

OQEANOUS Plus

Oversea Quality-assured Education in Asian Nations for Ocean University Students by JCK Plus ASEAN

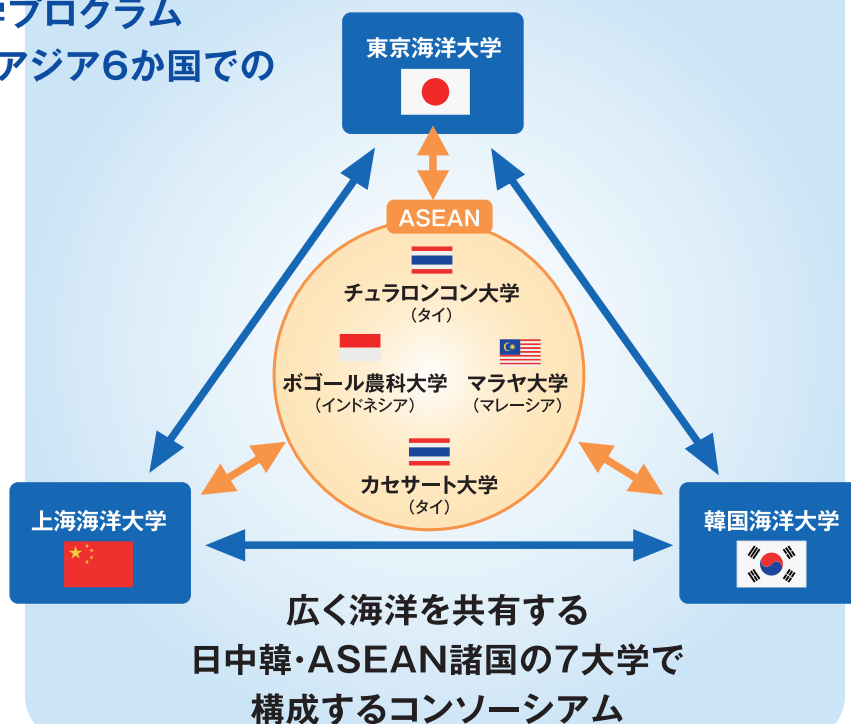
東京海洋大学 オケアヌスプラス留学プログラム 日中韓+ASEANの大学連携によるアジア6か国での 海洋分野の国際的実践教育

プログラム概要

東京海洋大学では、中韓及びASEANの6大学とコンソーシアムを組み、海洋分野における国際的な高度専門職業人を養成することを目的として、「オケアヌスプラス留学プログラム」を実施しています。

本プログラムでは、学部低年次生から大学院生までの幅広い層を対象に、オンラインによる学生交流会から、単位互換や共同学位が取得できる長期留学まで、様々なプログラムを提供して、本学学生の海外留学の促進を図っています。

※本プログラムの名称であるOQEANOUS(オケアヌス)は、ギリシャ神話に登場する海神(OCEANUS)に由来します。



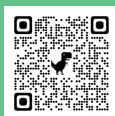
1.OEP

オンライン 学生交流会

【対象】海外留学や海外の学生との交流に興味のある学生

学生自らが企画・運営する1～2日間のオンライン交流会

- 講義受講
- グループディスカッション
- チームプレゼンテーション



導入的プログラム

2.STP

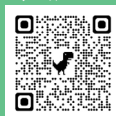
ショートタームプログラム (サマースクール)

【対象】学部4年生及び博士前期課程の学生でIJP、DDPに関心がある者

オンラインと実渡航のハイブリッド型学生交流プログラム

【実施期間】3週間程度

- 各分野のオンライン講義受講
- 5～6日間のフィールドトリップ
- チームプレゼンテーション



単位取得

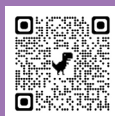
3.IJP

国際協働教育 プログラム

博士前期課程の学生を対象とした単位互換プログラム

【派遣期間】1セメスター

- 派遣先の授業を履修して取得した単位は、TUMSATの修了単位に互換可能
- 6単位以上の取得



単位互換

4.DDP

共同学位 プログラム

博士課程(前期・後期)の学生を対象としたダブルディグリープログラム

【派遣期間】

1年間(博士前期課程)
1年6か月(博士後期課程)

- 派遣先大学とTUMSATの両方で学位を取得

※派遣先はDDP協定を締結している大学に限ります



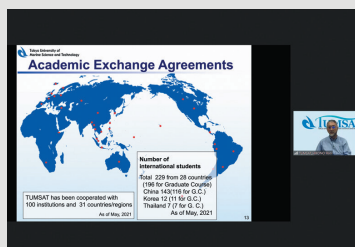
学位取得

対象
学生

学部生

博士前期課程

博士後期課程



留学する
皆さんへの
サポート
2024年1月現在

- 1 派遣先大学での授業料は無料、奨学金も支給(条件有)
- 2 滞在中は派遣先大学の宿舎に寮費免除で入寮(諸経費別)
- 3 航空券は大学が支給
- 4 派遣先大学での語学授業に参加可能
- 5 コーディネーターによる手厚い修学サポート

※サポート内容は状況により変わりますので、詳細はプログラム担当へお尋ねください。また、2026年4月以降は大きく変更が予定されています。

学生体験談

STP

〈派遣先〉
韓国及び日本



日程は大まかに最初の1週間を韓国で、次の1週間を日本国内で過ごしました。

韓国では韓国海洋大に赴き、研究室や練習船の見学を行いました。やはり韓国は日本と距離的に近いこともあり、随所に共通点が見られました。また、現地の博物館も見学させていただきました。ここでは、韓国の郷土や風土に関する資料を見学し、現地の考え方や文化の成り立ちを学ぶことができました。

日本に戻ってきてからは中国・タイ・マレーシアの学生も合流し、静岡県にある、いであ株式会社様の環境創造研究所と山梨県にある本学の大泉ステーションの見学を行いました。環境創造研究所では普段我々が目にするこの

できないような最新の設備を見学し、実際に普段の業務についての体験活動を行いました。

STPプログラムはわずか2週間程度しかない短いプログラムです。加えて、国や大学、企業などの協力の元、学生は航空券や宿の費用を負担せずにプログラムに参加することができます。大学のコーディネーターの方の支援も厚く、初めて海外に行ってみたい方でも安心して参加できると思います。



IJP

〈派遣先〉
ボゴール農科大学
(インドネシア)



急速に発展しているインドネシアで発生したケーススタディを通して、海洋環境を学ぶ授業を履修しました。特に授業内で興味深かったのは、ジャカルタ湾に流れる河川へのごみの投棄の問題でした。データを集めて解析し論文を発表するだけでなく、SNSなどを通じて論文を読まない大衆への啓発活動がとても重要であると言っていたのが印象的でした。授業を通して自分の専攻である海洋工学と海洋環境学は密接に関係していると感じました。

また、ほかの留学生から偶然誘ってもらい千葉大学とIPB大学向けのサマーコースに参加しました。今まで全く知

らなかったLandscape Architectureのコースでしたが、そこで知り合ったインドネシア人の友達には留学最後までとてもよくしてもらいましたし、フィリピンやマレーシアなどからの参加学生とも交流できてよい経験になりました。



コンソーシアム大学

上海海洋大学

<http://www.shou.edu.cn/eng/>



カセサート大学(タイ)

<https://www.ku.ac.th/en/faculty-of-fisheries/>



韓国海洋大学校(韓国)

<http://www.kmou.ac.kr/english/main.do>



マラヤ大学(マレーシア)

<https://www.um.edu.my/>



チュラロンコン大学(タイ)

<https://www.chula.ac.th/en/>



ボゴール農科大学(インドネシア)

<https://www.ipb.ac.id/>



問い合わせ先

東京海洋大学 国際・教学支援課 OQEANOUS Plus(オケアヌスプラス) 事業担当

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

TEL: 03-5463-0418 E-mail: oqeanous@m.kaiyodai.ac.jp

Webサイト <https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/oqeanous//>

